

令和4年度（2022年）PSS研修 開催要綱

1. はじめに

日本赤十字社（以下日赤）における緊急時の活動では、診療所の運営、巡回診療また、中長期につながる地域保健活動に加え、昨今は心理社会的支援（以下 PSS: Psychosocial Support/こころのケア）活動も同時に展開することが期待されている。

また、赤十字は緊急救援から中長期支援に向かう中でも PSS 活動を継続して実施することが多く、日赤の「バングラデシュ南部避難民支援事業」の中では、2017 年から継続的に PSS 要員が派遣されている。

今後、日赤の ERU をはじめとする緊急時の活動を展開するうえで、PSS 活動は必要不可欠な活動になり、その担い手となる「PSS 要員」を継続して育成するべく研修を開催することとした。

研修1日目は、心理的社会支援の中でも基礎であり、国際活動を目指すすべての要員に必須とされる手法として、サイコロジカル・ファーストエイド（以下 PFA: Psychological First Aid）を学び、研修2日目は、PSS 要員としての役割や活動についてより実践的に学ぶ。

なお、研修は対面形式で実施し、原則2日間の参加だが、条件に応じて各日のみ参加も認める（詳細は以下参照）。

2. 研修目的

- (1) PFA の行動原則「みる」「きく」「つなぐ」を習得し、行動できる
- (2) ERU PSS 要員として、経験者ととともに第1班で派遣可能になる

3. 研修目標

- | | |
|-----|---|
| 1日目 | (1) PFA の基本がわかる
(2) PFA の実践的アプローチが分かり、行動につなげる |
| 2日目 | (1) PSS の基本的概念がわかる
(2) PSS の実践的アプローチがわかる
(3) ERU における PSS 要員の役割を理解し、活動展開のイメージがもてる |

4. 研修内容

別紙プログラム参照

5. 研修日程

令和5年2月18日（土）9:00 ～ 令和5年2月19日（日）16:30

6. 研修会場

日本赤十字社本社 会議室（参加決定後に詳細連絡予定）

7. 受講要件：(1)～(3)それぞれ原則として以下の通り（再受講等応相談）

24名程度

(1) 2日間参加

- ① ERU 研修を修了している または ERU 研修を今後受講予定
- ② 日赤こころのケア研修を修了している（PSS 要員候補者）
- ③ 研修に全日程参加できること（PSS 要員候補者）
- ④ その他、PSS に関連する研修に参加した経験があれば、なおよいが必須ではない

(PSS 要員候補者)

(2) 1日目のみ参加

① ERU 研修を修了して PFA 研修を受講した経験がない

(3) 2日目のみ参加

① 昨年度日本赤十字社医療センターが実施した「令和3年度 PFA 1日研修」を受講済みであり、PSS 要員としての活動を目指す

8. 研修会講師 (予定)

日赤愛知医療センター名古屋第二病院	中島 久元
長岡赤十字看護専門学校	平野 美樹子
日本赤十字社 国際部	矢田 結
日本赤十字社医療センター	宮本 教子
	苫米地 則子

9. 研修参加費

受講料は無料

研修にかかる旅費については、支部・施設所属の方は国際医療救援事業交付金の対象となり、おって申請・充当すること

尚、同交付金旅費の扱いについては、平成26年9月30日付人事第445号「本社招集の旅費の取扱いについて」が準用されること。

10. 研修会申し込み

別紙様式により、日本赤十字社医療センター国際医療救援部あて、お申込みください。
担当者 日本赤十字社医療センター 国際医療救援部 苫米地 則子/宮本 教子

連絡先 電話 03-3400-0232 (内線 2382) imrd@med.jrc.or.jp

11. 申し込み期限

令和5年1月5日(木)

12. 受講決定連絡

応募者多数の場合、書類選考とし、1月10日(火)までに所属施設担当者あて事務連絡として通知いたします。なお、9月の応募者(事務局から連絡します)で受講を希望する場合は、申し込み用紙の提出は不要ですが、応募者全体での選考となりますので参加決定されたわけではありません。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

13. 必読文献

- (1) 病院 ERU ハンドブック 第2版 PSS パート P81~82 (日赤国際要員オンラインストレージ); 2日目参加者
- (2) 病院 ERU ハンドブック 第2版 参考資料 34 (日赤国際要員オンラインストレージ); 2日目参加者
- (3) 心理的応急処置 フィールドガイド WHO 2011 (1日目のみの方)
https://saigai-kokoro.ncnp.go.jp/pdf/who_pfa_guide.pdf
- (4) サイコロジカル・ファーストエイド (PFA) ガイド要約版 日本語訳 Psychosocial centre IFRC [日赤看護大 PFA 翻訳 \(jrc.ac.jp\)](http://www.jrc.ac.jp)